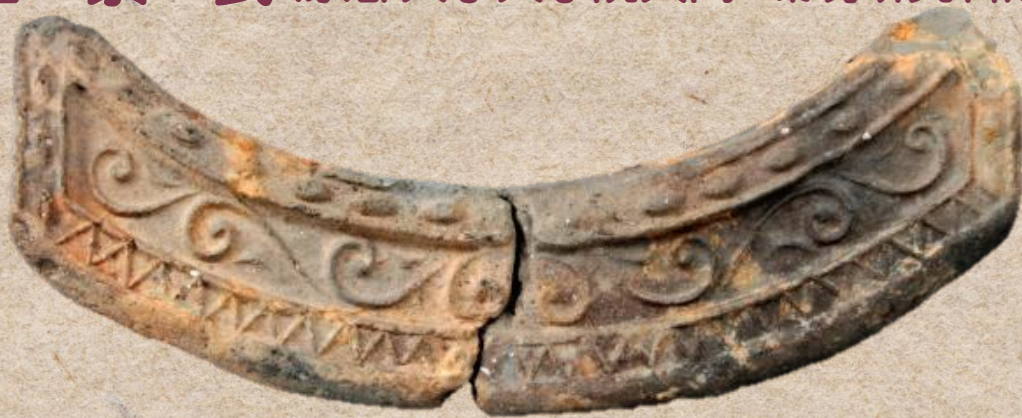


# 道鏡の権威・権力と 由義宮の造営

奈良時代の後半、称徳天皇が即位すると、弓削の道鏡は一介の僧侶から法王へと飛躍的に昇進していきました。道鏡がその過程で得た権威・権力とは？近年の調査結果で明らかになりつつある由義宮・由義寺の構造と関係付けながら、道鏡の政治的・宗教的な位置づけを再検討していきます。

**吉江 崇 氏** (京都大学大学院人間・環境研究科准教授)



平成 29 年 11 月 11 日 (土) 午後 1 時 30 分～4 時

1:30～2:00 『東弓削遺跡発掘調査の進捗状況』

八尾市教育委員会文化財課職員

現地説明会に行けなかった方必見です！

初心者大歓迎。わかりやすく説明します。

2:00～2:10 休憩

2:10～3:30 『道鏡の権威・権力と由義宮の造営』

吉江 崇 氏

3:30～4:00 質疑



場 所 志紀図書館 おはなし室  
定 員 中学生以上 50名  
申込み 11月1日(水)午前10時より、  
志紀図書館カウンター・  
電話(072-948-5454)まで。